後遺障害保険適用事例

2024年3月末現在、次の71例に後遺障害保険が適用されました。

＜骨髄採取＞

(1)左手尺骨神経障害

骨髄採取中の尺骨神経圧迫が原因と推定される尺骨神経障害を発症し、左手尺側（第4・5指）に知覚障害が残存しました。

(2)一過性の片麻痺と一部軽度の知覚低下の残存

全身麻酔覚醒後、一過性の左半身麻痺を生じましたが、急速に自然回復し退院、日常生活に復帰しました。しかし、左手尺側（小指の付け根部分）に軽度の知覚鈍麻と痺れ感が残存しました。

(3)外側大腿皮神経　単発性神経炎

採取後、外側大腿皮神経の単発性神経炎を発症しました。日常生活には支障ありませんが右鼠径部に痺れ感が残存しました。

(4)右臀部感覚低下

採取後、右臀部の感覚低下となり、日常生活には支障ありませんが症状が残存しました。

(5)術後性臀部カウザルギー

採取後、長期にわたり腰痛が持続しました。骨髄採取部位(臀部)の痛みが残存しました。

(6)反射性交感神経性ジストロフィー

採取後、左臀部から左大腿部を中心とする痛みと痺れ感が残存しました。

(7)外傷性坐骨神経障害

採取後、左下肢の痛みと痺れが残存しました。

(8)仙腸関節炎

採取後、仙腸関節炎となり、痛みが残存しました。

(9)左外側大腿皮神経障害

採取後、左大腿部の触覚、温冷覚などの感覚の障害と痺れがありました。

その後、痺れはなくなりましたが、知覚障害が残存しました。

(10)左腰部から臀部の痛みと痺れ

採取後、長期にわたり左腰部から臀部の痛みと痺れが持続しました。左臀部の違和感が残存しました。

(11)右外側大腿皮神経障害

採取後、右大腿部の触覚、温冷覚などの感覚の障害と痺れがありました。

その後、痺れはなくなりましたが、知覚障害が残存しました。

(12)椎間板ヘルニア　頚部脊柱管狭窄症

採取後、椎間板ヘルニアと頚部脊柱管狭窄症が顕在化し、左大腿部の痺れ、両腕の垂直挙上不可、登坂性起立などの症状が残存しました。

(13)右腸骨骨髄穿刺部の腰痛

採取後、骨髄穿刺部の痛みと右下肢の知覚低下が残存しました。

(14)左仙腸関節部難治性疼痛

採取後、左腰から臀部にかけて痺れ、鈍痛が残存しました。

(15)骨髄採取後の骨痛
採取後、過骨形成により骨髄採取部位に痛みが残存しました。
(16)腰部神経根症
採取後、腰部神経根症となり腰痛と知覚障害が残存しました。
(17)腰部神経根症と左尺骨神経障害
採取後、腰部神経根症となり腰痛と知覚障害が残存しました。また、左尺骨神経傷害を発症し、左手尺側（第5指）に知覚障害が残存しました。
(18)腰椎椎間板症
採取後、腰椎椎間板症の診断を受け腰部の違和感と足指の痺れが残存しました。
(19)左臀部末梢神経損傷
採取後、左臀部から足にかけて継続する痺れ感が残存しました。
(20)右大腿部末梢神経損傷
採取後、右大腿前面および外側に知覚異常が残存しました。
(21)末梢神経障害に伴う神経障害性疼痛
採取後、継続する右臀部痛、右下肢痺れが残存しました。
(22)腰痛症および腰痛症に伴う両膝内障
採取後、腰の痛みが継続し腰痛症と診断されました。また腰の痛みをかばって歩行していたことから、両膝痛が出現し両膝内障と診断され痛みが残存しました。
(23)左外側大腿皮神経領域の痺れ
採取後、左外側大腿皮神経領域に痺れが残存しました。
(24)左肩の違和感および疼痛持続
採取後、左肩の違和感と疼痛が残存しました。
(25)左股関節から左大腿部、膝の痺れと違和感
採取後、左股関節から左大腿部、膝への痺れ感が残存し、左外側大腿皮神経障害と診断されました。
(26)左臀部の痺れ感
採取後、左鼠径部から左臀部に痺れ感が残存しました。
(27)穿刺部の疼痛および腰痛
採取後、穿刺部位の疼痛および腰痛が残存しました。
(28)関節リウマチ
採取後、関節リウマチに伴う、神経症状(両手関節痛、両手指腫脹、両握力低下)を発症しました。
(29)仙腸関節炎
採取後、仙腸関節炎による左下肢痛および腰痛が残存しました。
(30)両手の痺れと痛み
採取後、両手の痛み、痺れ(左第4・5指、右第4・5指の痺れ感）が残存しました。
(31)採取部位から大腿部にかけての疼痛持続
採取後、採取部位から大腿部にかけての疼痛が残存しました。
(32)臀部皮神経損傷による臀部の痺れと痛み
採取後、左臀部皮神経損傷による痺れ感と疼痛が残存しました。
(33)大腿部痛と下肢の痺れ
採取後、左大腿部痛と下肢の痺れが残存しました。

(34)右後上腸骨棘部位の疼痛および右大腿外側部の疼痛と痺れ
採取後、右後上腸骨棘部位の疼痛および右大腿外側部の疼痛と痺れが残存しました。
(35)両側骨盤穿刺部位の遷延する疼痛
採取後、両側穿刺部位の疼痛が残存しました。
(36)採取部位の圧痛ならびに動作時の疼痛
採取後、採取部位両後腸骨稜に圧痛ならびに動作時の疼痛が残存しました。
(37)腰部疼痛
採取後、腰椎椎間板障害が顕性化した可能性があり腰部の鈍痛が残存しました。
(38)右上殿皮神経障害
採取後、右臀部の疼痛が残存しました。
(39)感覚性単神経障害
採取後、両手尺側に感覚障害が残存しました。
(40)両上下肢の痺れと手指運動障害および歩行障害
採取後、両手先の痺れ、頸部痛があり、運動障害が持続しました。
(41)複合性局所疼痛症候群
採取後、腰部から臀部にかけて疝痛、圧痛があり痛みの部位の移動も見られ、足関節における、絞扼感と痺れが継続しました。
(42)持続性の腰痛
骨髄採取に伴う、創の瘢痕化により、腰部のひきつれるような痛みが持続しました。
(43)右知覚異常性大腿神経痛
採取後、右大腿外側皮神経領域の知覚障害・疼痛が残存しました。
(44)気分変調症障害、緊張性頭痛
採取後、嘔気・嘔吐、頭痛、発熱を認め、その後も嘔気、めまい、ふらつき、頭痛が遷延しました。
(45)採取部位痛
採取後、採取部位の圧痛が残存しました。
(46)右橈骨神経障害に伴う右上肢感覚異常
採取後、右上肢、右第1指を中心とする感覚低下及び異常感覚が残存しました。
(47)穿刺部の圧痛
採取後、左右仙腸関節近傍の圧痛が残存しました。
(48)腰痛、左下肢痛
採取後、左下肢の神経障害が残存しました。
(49)右外側大腿皮神経障害
採取後、右大腿の違和感、痺れ感が残存しました。
(50)頚椎症性神経根症術後
採取後、左上肢全体に疼痛と痺れ感が残存しました。
(51)腰痛症
採取後、腰帯部の鈍痛が残存しました。
(52)骨髄穿刺部の違和感残存
採取後、穿刺部の痛みがあり、採取部位に違和感が残存しました。
(53)左橈骨神経損傷
採取後、左母指背側・示指背側に、痺れ感と知覚鈍麻が残存しました。

(54)左腓骨神経麻痺
採取後、左足背屈障害・筋力低下・左足趾機能低下の症状が残存しました。
(55)右上肢感覚障害
採取後、右前腕から手掌の痺れ感が残存しました。
(56)自己免疫性神経痛性筋萎縮症
採取後、左下肢痛左下腿後面・左足底の感覚異常、右下腿の下 1/3 と足底の感覚異常が残存しました。
(57)右尺骨神経障害
採取後、右手・前腕の痺れ・震え・筋力低下の症状が残存しました。
(58)術後疼痛(骨髄採取に伴う穿刺後疼痛)
採取後、左骨髄穿刺部からやや下方にかけての疼痛が残存しました。
(59)大腿皮神経損傷
採取後、両大腿前面に痺れ感が残存しました。
(60)両側後腸骨骨髄穿刺部疼痛遺残
採取後、臀部の自発痛、圧痛の症状が残存しました。
(61)上臀皮神経障害の疑い
採取後、右側の骨髄採取部位から右殿部へ拡がる放散痛が残存しました。
(62) 左臀部痛
採取後、左腸骨の穿刺部位付近の疼痛・痺れが残存しました。
(63) 左臀部末梢神経損傷
採取後、左穿刺部より約 10 ㎝四方で痺れ感・圧痛が残存しました。
(64)腰痛症
採取後、両側腸骨穿刺部に圧痛が残存しました。
(65)左下肢痛と異常知覚
採取後、左臀部から左下肢に疼痛・知覚異常が残存しました。
(66)右臀部から膝背面の痺れ・疼痛
採取後、右臀部から膝背面の疼痛・痺れが残存しました。
(67)右第 1-2 仙骨神経根損傷
採取中の右第 1-2 仙骨神経根損傷により採取後、腰痛、右下肢に疼痛・痺れが残存しました。
(68)右上肢の神経症状と疼痛
返血時に自己血が血管外に漏出し、右上肢に神経症状と疼痛が残存しました。
(69)腰痛症
採取後、両側腸骨穿刺部に疼痛が残存しました。

＜末梢血幹細胞採取＞
(1)右下肢痛
採取後、右下肢背面の痺れ、疼痛、動かしにくさの症状が残存しました。
(2) 右下腿浮腫、だるさ、冷感、右足先紫色になる症状持続
採取後、右下腿浮腫、だるさ、冷感、右足先が紫色になる症状が残存しました。